

「朝N I E」と「地方紙全国制覇」の取り組み

伊丹市立笹原中学校 校長 岡本 光子
主幹教諭 山中 眞紀

1. はじめに

本校では、毎朝、朝読書の時間を設け、読書の習慣化や文章を読み取る力、語彙力の育成を図ってきた。しかし、自分の考えや思いをまとめたり、書いたりする力が弱く、読書と平行して活字に触れながら、「書く」力を育む機会を設定することにした。そこで、平成24年10月から、全校で新聞記事を活用した読解ワークに取り組み、週1回の朝読書の時間を「朝N I E」とし、読解力や表現力はもちろんのこと、社会の出来事に興味を持ち、社会とのつながりに気付くとともに、「知る」ことから始まる「学びの豊かさ」を実感してほしいと考えて、取り組んできた。また、「朝N I E」の取り組みを通して、生徒や生徒の家族、学校関係者らから、さまざまな地方紙が届けられるようになり、47都道府県の地方紙を収集することができた。以下に、取り組みについて、具体的に述べる。

2. 取り組み

(1) 「朝N I E」

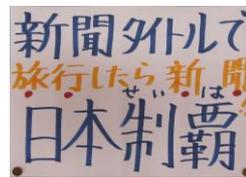
- ① 週1こまの朝読書の時間（月～金8：30～40）を「朝N I E」にする。
曜日は各学年で決定して取り組む。
- ② ワークシートは全校統一ではなく、生徒の実態に応じて、学年で作成する。
- ③ ワークシートは回収し、担任が点検の上、コメントを記入して生徒に返却する。生徒は各自の「朝N I E」ファイルにとじる。
- ④ 読み取りが良くできたワークシートや視点の面白い読み方をしたものは、学年のフロアに掲示して、生徒が自由に見られるようにする。掲示のボードには、記事内容を補足できるような写真や言葉を添えて、理解が深まるように工夫する。必ず、次週の週明けには掲示する。
- ⑤ 各階の廊下や図書館前に新聞を自由に閲覧できるコーナーを設置し、新聞への興味・関心を高める。
- ⑥ ワークシートの記事は、指導者が意図的に記事を選択して、記事の内容を読解させ、記事を基に考えさせる。タイムリーな話題、地方紙ならではの話題、日常生活に関する話題、4こま漫画など、新聞への興味・関心が高まるように、さまざまなジャンルの記事を選択する。



「朝NIE」の廊下掲示

(2) 地方紙全国制覇

奄美大島に帰省した生徒が持参した「奄美新聞」をきっかけに全国の「新聞タイトル」を集める取り組みを始めた。段ボールで作った日本地図に、新聞名を貼り付け掲示した。タイトルの文字の形や



背景のイラストにも、地域の特徴が表れ、地理の学習にもつながる上に、達成感もあり、大変好評であった。生徒や職員、保護者や関係機関の方々が出張や帰省などの際に持ち帰り、提供していただいた。本校のNIEの取り組みを応援して下さったたくさんの方々の協力により、47都道府県すべての地方紙タイトルを集めることができ、素晴らしい卒業記念品となった。



第31回卒業生一同 平成27年3月6日

(3) 世界の国々の新聞掲示

地方紙全国制覇の取り組みを進める中で、生徒の保護者や親戚の方から外国の新聞を提供いただけるようになった。

集まった新聞を新聞の1面がそのまま入る大きさ(A0)のクリアファイルに入れ、取り出して見られる状態にして掲示した。



外国の新聞掲示

3. 成果と課題

3年間の「朝NIE」の取り組みを振り返って3年生が書いた感想から、取り組みの成果の大きさが実感できた。以下に、感想の一部を紹介する。

- ・毎週金曜日に新聞を読むことで、日本の今について知ることができたし、その記事について深く考えることができた。1年の時に比べて、内容を読む力がついたと思うし、内容の重要なところを瞬時に判断できるようになった。
- ・世界の出来事に少しだけ興味を抱くことができた。今まではほとんど新聞を読む習慣がなかったので、あの金曜日のNIEは、とても貴重な時間だった。
- ・家でもテレビ番組表だけじゃなくて、ちゃんと今問題になっている記事や政治に関するところも読むようになった。
- ・朝から新聞の記事を読むことで読解力もつき、朝から頭が働いて、今までより長い文章もスラスラと読めるようになった。
- ・長い文章を最後まで読み切る力がついたと思う。初めは、すぐ読むのをやめてしまったが、だんだん最後まで読めるようになった。
- ・1年生から比べると、読み取る力がついたと思う。特に、その文章から何が考えられるかというところでは、自分の考えを「朝NIE」の中で言えるようになった。
- ・目の前に新聞があると、手を伸ばす癖がついた。良いことだなと思っている。
- ・3年間NIEをやって、新聞とか文を読むのがとても好きになった。今週はどんな記事なのかなと、ひそかに楽しみにしていた。きっと今まで以上に文章力も読み取る力がついたと思う。3年間やり続けて本当に良かったと思った。
- ・「朝NIE」では、相変わらずユニークな記事が多く、毎年、もっと新聞を読み

たいと思った。さらに「朝N I E」前日に、何が出るかと予想して、2週間分の新聞を読み返したり、ニュースをたくさん見たりした。そして「朝N I E」のベスト作品に選ばれて掲示された時は、自分の書く文章に自信を持って、さらにすごくうれしかった。

- ・1年生の時は国語が苦手でも50点とかだったけど、N I Eを続けることで読み取る力がつき、60点、70点と上がっていき、90点を超えることができた。点数が上がったのは、きっとN I Eのおかげだと思った。
- ・1年生からN I Eをして、自分にはたくさんの力がついたと思う。一番はやっぱり読解力で、1年生のころに比べて、読んで内容を理解するスピードが速くなったと思う。
- ・読み解く力や考える力がよりつけられたと思う。そして、いろいろな新聞の記事を見て、今どんなことが起きているのかを知るためにも役立った。
- ・国語の読み取る力がついたと思う。テストの内容がとても分かりやすく感じた。そして、新聞には自分の役に立つ記事が多く載っているということも知った。
- ・N I Eを通して、普通の記事も読むようになった。そして、ある日、香川県の巨大アクリル板の記事を見つけ、すごく興味を持った。そこで、インターネットで調べたりもした。すると、1週間後の「朝N I E」でこの記事が取り上げられ、すごく印象に残っている。

以上の通り、うれしい言葉を多く残して、卒業していった。1年生の時に新聞記事を全く読もうとしなかった生徒も、大きな達成感と充実感を胸に巣立っていった。このような成果を得られた背景には、きめ細やかな根気強い指導がある。漢字の読み方なども含めて、丁寧に指導することで「学ぶ」「知る」喜びを感じてほしいと願い、指導に当たってきた。

また、興味・関心を持ちやすいように、身近で自分たちの生活と関わりのある記事を選ぶようにしてきた。「朝N I E」の時間内に記事の読み取りができない生徒には、設問への解答を一つでも二つでもきちんと書いて達成感が持てるように、きめ細やかに指導をしてきた。生徒の学習課題を把握し、生徒に身に付けさせたい力やその力の伸びしろの大きさまで、指導者間で共通理解し、指導者も楽しみながら取り組んできた。しっかりと目標を定めた「継続」は「力」なりと、心から実感できた取り組みであった。

手法をまねるだけにとどまらず、これまでの成果を効果的に活用し、今後も、学年の生徒の学習課題や個々の生徒の学習課題をしっかりと把握し、指導目標を明確にして、指導者が一丸となって取り組んでいきたい。